

## カーザフ郭

この溪谷は、自然に露頭しているでこぼこに層を成す灰色の古期石灰岩の間を通っており、城の要塞の一部となっています。この溪谷の呼び名は、現地の言葉で「カー（またはガー）」が「川」あるいは「湧泉」を指し、また「ザフ」が「迫（谷間）」を意味することに由来します。沖縄諸島にはあまり多くの河川がないので、このような泉は特別な重要性を持ちます。

カーザフ郭の石垣は自然の岩石の不規則な層を模倣しているようであり、この溪谷はなぜこの場所が築城に選ばれたのかを理解するのに役立ちます。淡水の湧泉は、城の水の供給源のひとつだった可能性があります。